

第64回日本小腸学会学術集会
開催プログラム

会長:中村 志郎 (大阪回生病院 消化器内科 IBDセンター)
会期:2026年10月17日(土)8:50-18:00
会場:オービックホール (〒541-0046 大阪市中央区平野町4丁目2番3号 オービック御堂筋ビル2階)

※各主題・一般演題の発表演題を募集します。

時間	第1会場	第2会場
8:50-8:55	開会の辞 中村 志郎 (大阪回生病院)	
9:00-10:10 (70分)	主題セッション1 演題公募 小腸病変を有する希少疾患の内視鏡診断(炎症・腫瘍・その他) 司会:仲瀬 裕志 (札幌医科大学)、江崎 幹宏 (佐賀大学) 基調講演:梅野 淳嗣 (九州大学) 特別発言:今枝 博之 (埼玉医科大学) 共催:ミヤリサン製薬株式会社	一般演題1 公募 司会:杉本 健 (浜松医科大学)、中村 正直 (愛知医科大学) コメンテーター:柿本 一城 (大阪医科薬科大学)
10:15-10:45 (30分)	理事長講演 「小腸学会、次のステップへ」 司会:中村 志郎 (大阪回生病院／第64回日本小腸学会学術集会会長) 演者:松本 主之 (日本小腸学会理事長・岩手医科大学)	
10:50-12:00 (70分)	主題セッション2 演題公募 小腸マイクロバイオームとヒト疾患の基礎・臨床研究 司会:金井 隆典 (慶應義塾大学)、高木 智久 (京都府立医科大学) 基調講演:高木 智久 (京都府立医科大学) 特別発言:安藤 朗 (川西市立総合医療センター) 共催:東亜薬品工業株式会社	スポンサードセミナー1 *シン・VCE 小腸カプセル内視鏡のCurrent Trends 司会:樋口 和秀 (ラポール会 青山病院) 演者:細井 賢二 (東京都立小児総合医療センター) 米田 頼晃 (近畿大学) 共催:コヴィディエンジャパン株式会社
12:05-13:05 (60分)	ランチョンセミナー1 クローン病診療におけるGuselkumabのCutting edge(仮) 司会:日比 紀文 (慶應義塾大学名誉教授)、渡辺 守 (順天堂大学) 演者:久松 理一 (杏林大学) 松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院) 共催:ヤンセンファーマ株式会社	ランチョンセミナー2 IBD最新情報 Up date(仮) 司会:渡辺 憲治 (富山大学)、土屋 輝一郎 (筑波大学) 演者:山村 健史 (名古屋大学)、藤井 俊光 (東京科学大学) 共催:アッヴィ合同会社
13:10-13:30	総会・評議委員会	
13:35-14:45 (70分)	主題セッション3 演題公募 クローン病 小腸病変評価の最前線(MRE、CTE、腸管エコー、バイオマーカーなど) 司会:新崎 信一郎 (兵庫医科大学)、竹内 健 (辻仲病院柏の葉) 基調講演:竹中 健人 (東京科学大学) 特別発言:大塚 和朗 (昭和医科大学横浜市北部病院)	一般演題2 公募 司会:櫻庭 裕次 (弘前大学)、 加藤 真吾 (埼玉医科大学総合医療センター) コメンテーター:西田 淳史 (滋賀医科大学)
14:50-15:50 (60分)	アフタヌーンセミナー1 TeduglutideとVedolizumabがIBDにもたらせたDeep Impact(仮) 司会:内野 基 (兵庫医科大学)、飯島 英樹 (大阪けいさつ病院) 演者:荻野 崇之 (大阪大学)、細見 周平 (大阪公立大学) 共催:武田薬品工業株式会社	アフタヌーンセミナー2 IBD内科治療ストラテジー(仮) 司会:穂苅 量太 (防衛医科大学校) 演者:大森 鉄平 (杏林大学)、猿田 雅之 (東京慈恵会医科大学) 共催:持田製薬株式会社
15:55-16:35 (40分)	会長特別企画1 *シン・小腸学 小腸疾患に対する再生医療の現在地と展望 司会:緒方 晴彦 (藤田医科大学) 演者:岡本 隆一 (東京科学大学)	会長特別企画2 ここが変わった！小腸内視鏡診療ガイドライン改訂のPoint 司会:田中 信治 (医療法人ハートフル アマノ病院) 演者:矢野 智則 (自治医科大学)
16:40-17:50 (70分)	主題セッション4 演題公募 小腸疾患に対する小腸内視鏡検査と治療の新展開 司会:大宮 直木 (藤田医科大学)、岡 志郎 (広島大学) 特別発言:山本 博徳 (自治医科大学) 共催:富士フイルムメディカル株式会社	アフタヌーンセミナー3 クローン病 長期経過における栄養療法の意義を見つめ直す(仮) 司会:長沼 誠 (関西医科大学) 演者:平井 郁仁 (福岡大学)、馬場 重樹 (滋賀医科大学) 共催:EAファーマ株式会社
17:55-18:00	閉会の辞 中村 志郎 (大阪回生病院)	